

(資料 1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移 (最近の動向)

令和 7 年 6 月 9 日
四 国 森 林 管 理 局

目 次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	丸太価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	丸太取扱量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	8
3	製材品価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	9
III	全国の丸太価格の動向・・・・・・・・・・・・・・・・	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移・・・・・・・・	12
2	全国の住宅着工戸数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	13

Ⅰ 管内における原木市場・共販所の状況

1-(1) 丸太価格の推移（スギ、径14cm～16cm 長3m材・4m材）

- 愛媛県、高知県では、令和7年に入って3m材・4m材ともに値上がりしていたが、5月はやや弱含みがみられる。
- 徳島県は、令和4年7月以降、横ばいで推移している。
- 令和7年5月のスギ丸太価格は、前年同月比100%から114%で推移。



○ 5月のスギ丸太価格

(円/m3)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	12,000	12,000	100%
	□ 4 m材	12,000	12,000	100%
愛媛県	▲ 3 m材	12,983	11,717	111%
	□ 4 m材	14,790	12,933	114%
高知県	▲ 3 m材	13,167	12,833	103%
	□ 4 m材	14,333	13,000	110%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(2)丸太価格の推移（スギ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県では、令和7年に入って3 m材・4 m材ともに概ね横ばいとなっている。
- 徳島県は令和5年以降は、ほぼ横ばいで推移していたが、3月に3 m材が値上がりした。
- 令和7年5月のスギ丸太価格は、前年同月比99%から108%で推移。



○ 5月のスギ丸太価格

(円/㎡)

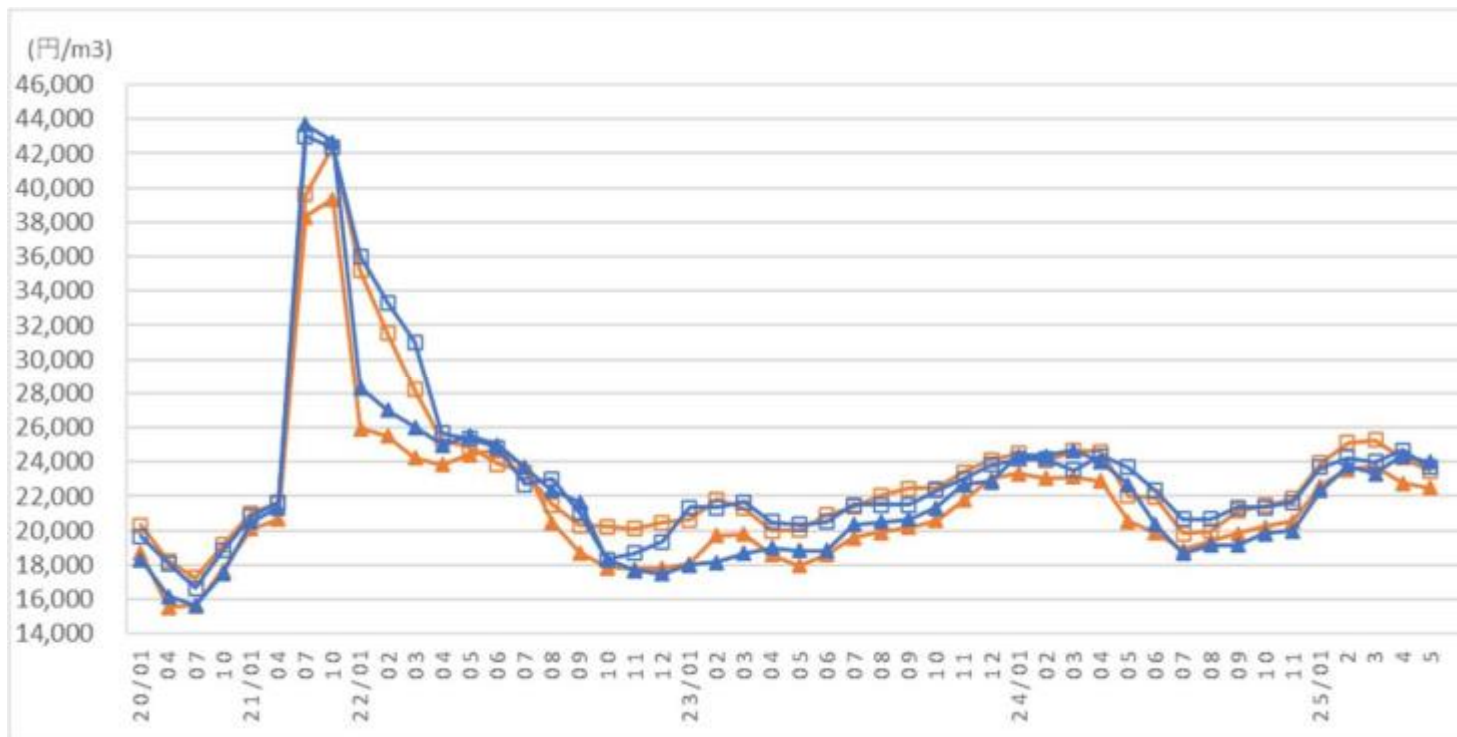
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	13,000	12,000	108%
	□ 4 m材	18,000	18,200	99%
愛媛県	▲ 3 m材	15,333	14,667	105%
	□ 4 m材	15,167	15,300	99%
高知県	▲ 3 m材	15,167	14,167	107%
	□ 4 m材	15,000	14,333	105%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(3)丸太価格の推移（ヒノキ、径14cm～16cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県では、令和7年に入って3 m材・4 m材ともに値上がりしていたが、4月以降は弱含みがみられる。
- 令和7年5月のヒノキ丸太価格は、前年同月比100%から109%で推移。



○ 5月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3 m材	22,480	20,550	109%
	□ 4 m材	23,477	22,000	107%
高知県	▲ 3 m材	24,000	22,667	106%
	□ 4 m材	23,667	23,667	100%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(4)丸太価格の推移（ヒノキ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県では、令和7年に入って3 m材・4 m材ともに値上げ傾向にあったが、5月はやや弱含みがみられる。
- 令和7年5月のヒノキ丸太価格は、前年同月比101%から105%で推移。



○ 5月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3 m材	21,867	21,200	103%
	□ 4 m材	22,333	21,333	105%
高知県	▲ 3 m材	22,333	21,500	104%
	□ 4 m材	22,667	22,333	101%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

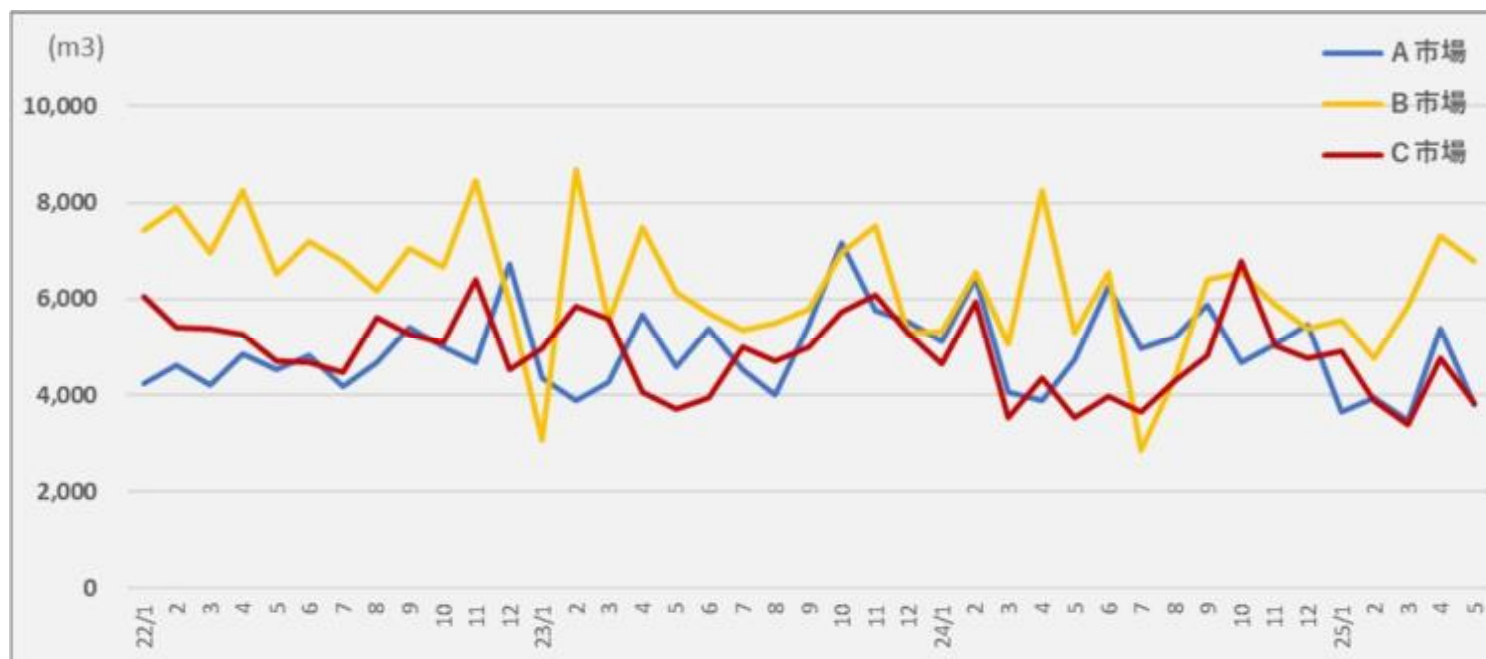
Ⅰ 管内における原木市場・共販所の状況

2-(1) 丸太取扱量の推移（愛媛県）

- 愛媛県内の主な原木市場・共販所における3月から5月の丸太取扱量は、増加傾向にある。
- 直近3か月（3～5月）を、前年同時期と比べると104%で推移。

直近3か月（3～5月）の入荷量

	2025年	2024年	前年同期比
A市場	12,637	12,674	100%
B市場	19,958	18,607	107%
C市場	11,977	11,424	105%
計	44,572	42,705	104%



（市場関係者のコメント）

・ 入荷量は例年より少なかったが、回復し増加傾向にある。

・ 製材の在庫量も少なく、引き合いはあるが、虫害で買い控えもみられる。

・ スギ大径材が値上がりしていたが、一部市場では売れ行きが悪く価格低迷。ヒノキは保合で推移すると思われる。スギ・ヒノキとも虫害の影響が心配される。

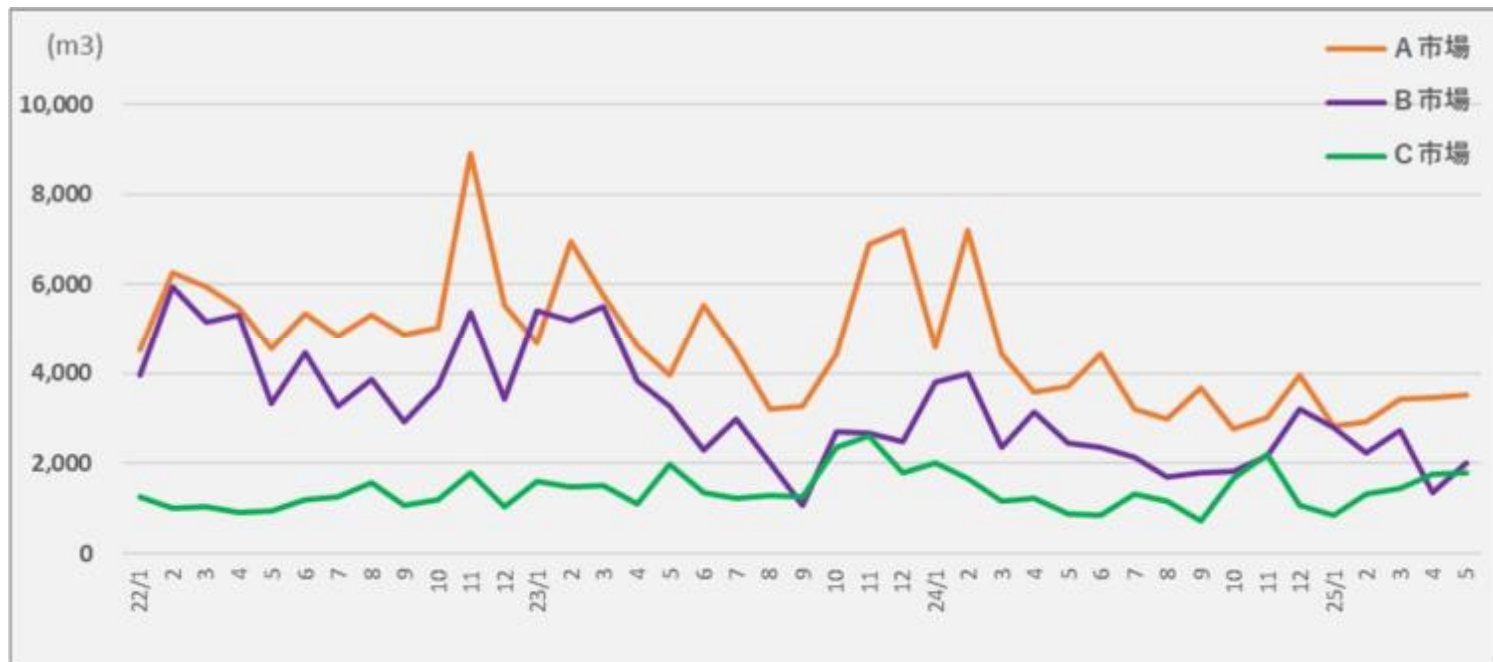
・ 入荷量は大きな変動はないと思われるが、虫害等の時期的な影響が心配される。

2-(2) 丸太取扱量の推移（高知県）

- 高知県内の主な原木市場・共販所における3月～5月の丸太取扱量は、増加傾向にある。
- 直近3か月（3～5月）を、前年同時期と比べると94%で推移。

直近3か月（3～5月）の入荷量

	2025年	2024年	前年同期比
A市場	10,435	11,750	89%
B市場	6,144	7,950	77%
C市場	5,030	3,275	154%
計	21,609	22,975	94%



（市場関係者のコメント）

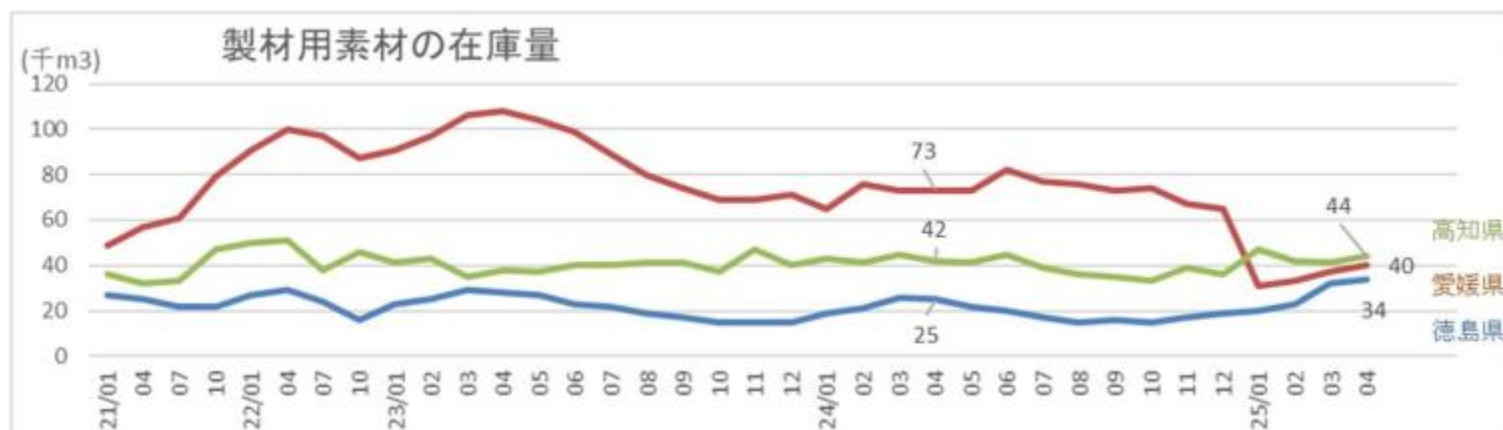
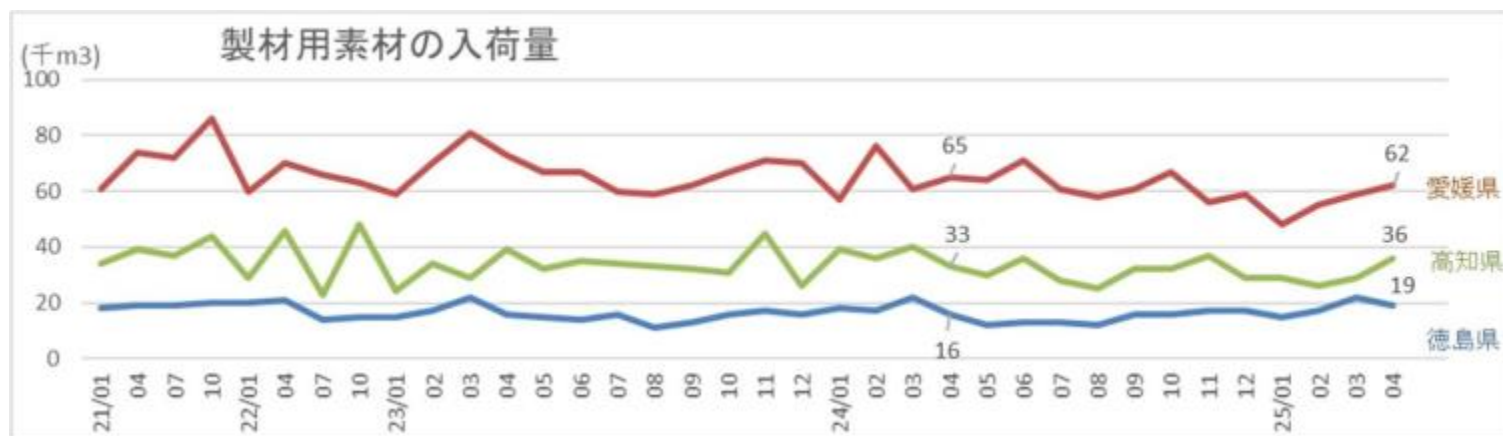
- ・ 入荷量はスギ・ヒノキともに回復し増加傾向にある。
- ・ スギ価格は落ち着き弱含み。ヒノキは保合から弱含みとなっている。
- ・ 材の引き取りは良好。
- ・ 今後の入荷量は大きくは変わらないと思われる。価格は時期的に弱含みと予想。

資料：四国森林管理局調べ

Ⅱ 管内における製材等の状況

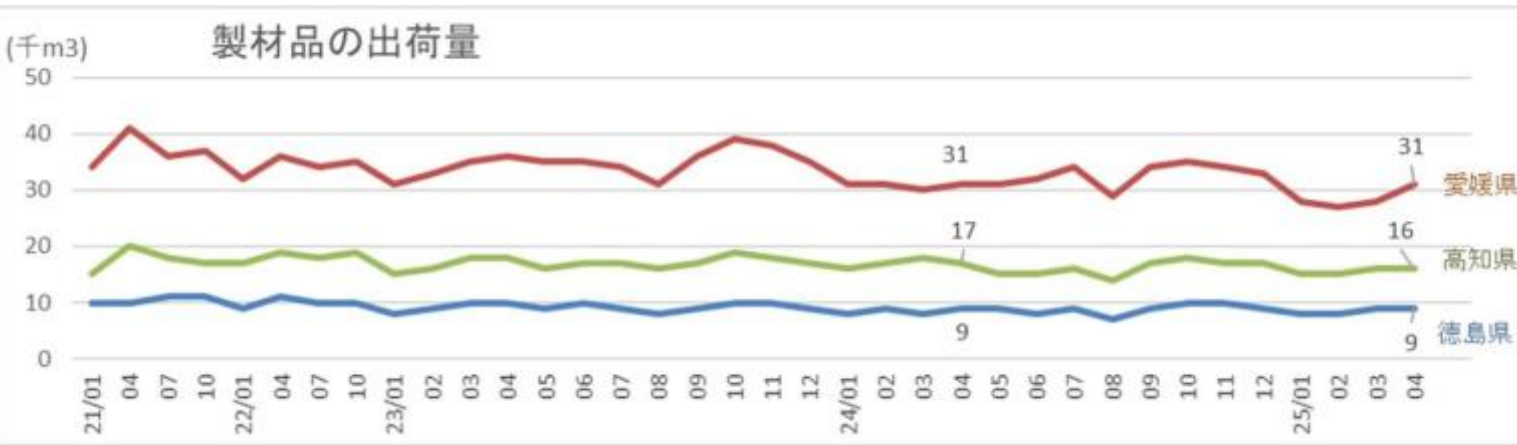
1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和7年）

- 四国の2～4月の製材用素材の入荷量は、325千m³（前年比89%）、徳島県は増加、愛媛県、高知県は減少となった。
- 同期間の製材用素材の月平均在庫量は、36千m³（前年比77%）、徳島県は増加。愛媛県、高知県は減少となった。



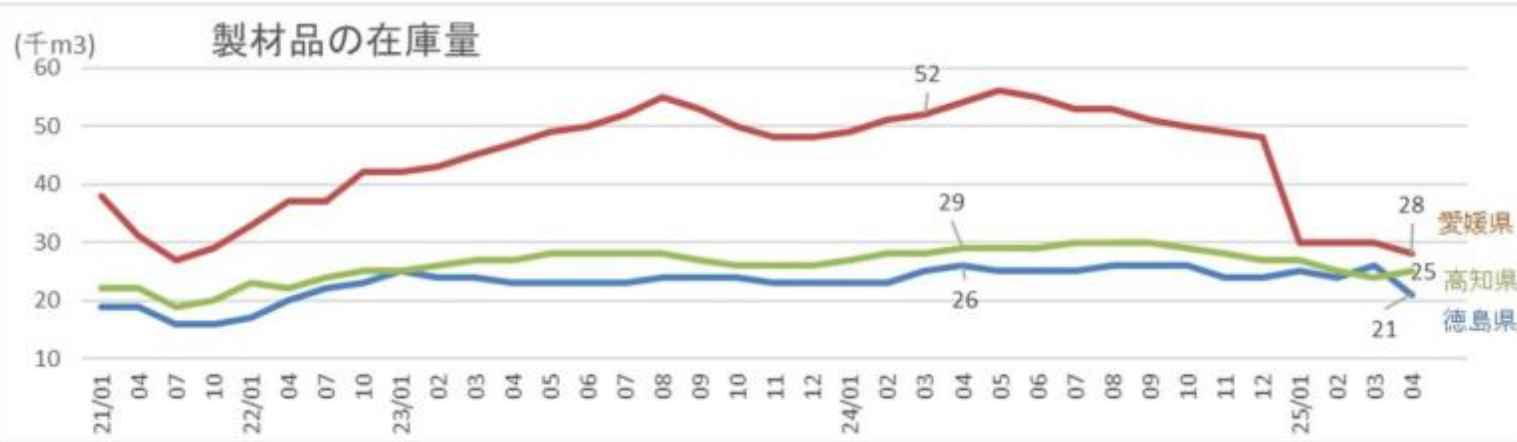
2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和7年）

- 四国の2～4月の製材品出荷量は、159千m3（前年比94%）、徳島県は横ばい。愛媛県、高知県は減少となった。
- 同期間の製材品の月平均在庫量は、26千m3（前年比74%）、徳島県、愛媛県、高知県3県ともに減少し、特に愛媛県は大幅に減少。



（千m3）

2～4月製材品出荷量			
	2025年	2024年	前年比
徳島	26	26	100%
愛媛	86	92	93%
高知	47	52	90%
四国計	159	170	94%

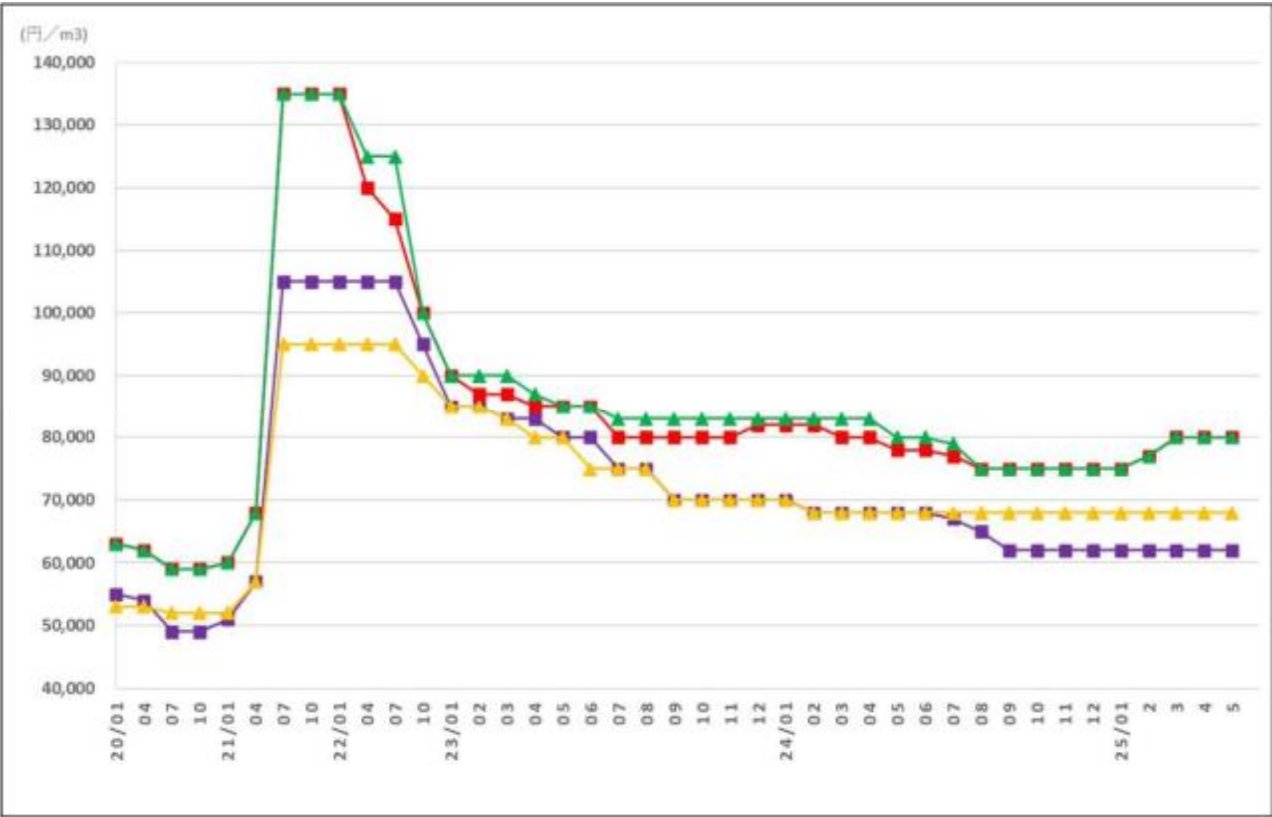


（千m3）

2～4月製材品在庫量（月平均）			
	2025年	2024年	前年比
徳島	24	25	96%
愛媛	29	52	56%
高知	25	28	89%
四国計	26	35	74%

3. 製材品価格の推移

- 令和6年は、7月にスギ・ヒノキの柱・土台を中心に値を下げたが、以降は横ばいで推移。
- 令和7年に入って、スギは横ばいで推移。ヒノキは2・3月に値を上げ、以降は横ばいで推移。
- 前年同月比ではスギは91%から100%で推移。ヒノキは100%～103%で推移。



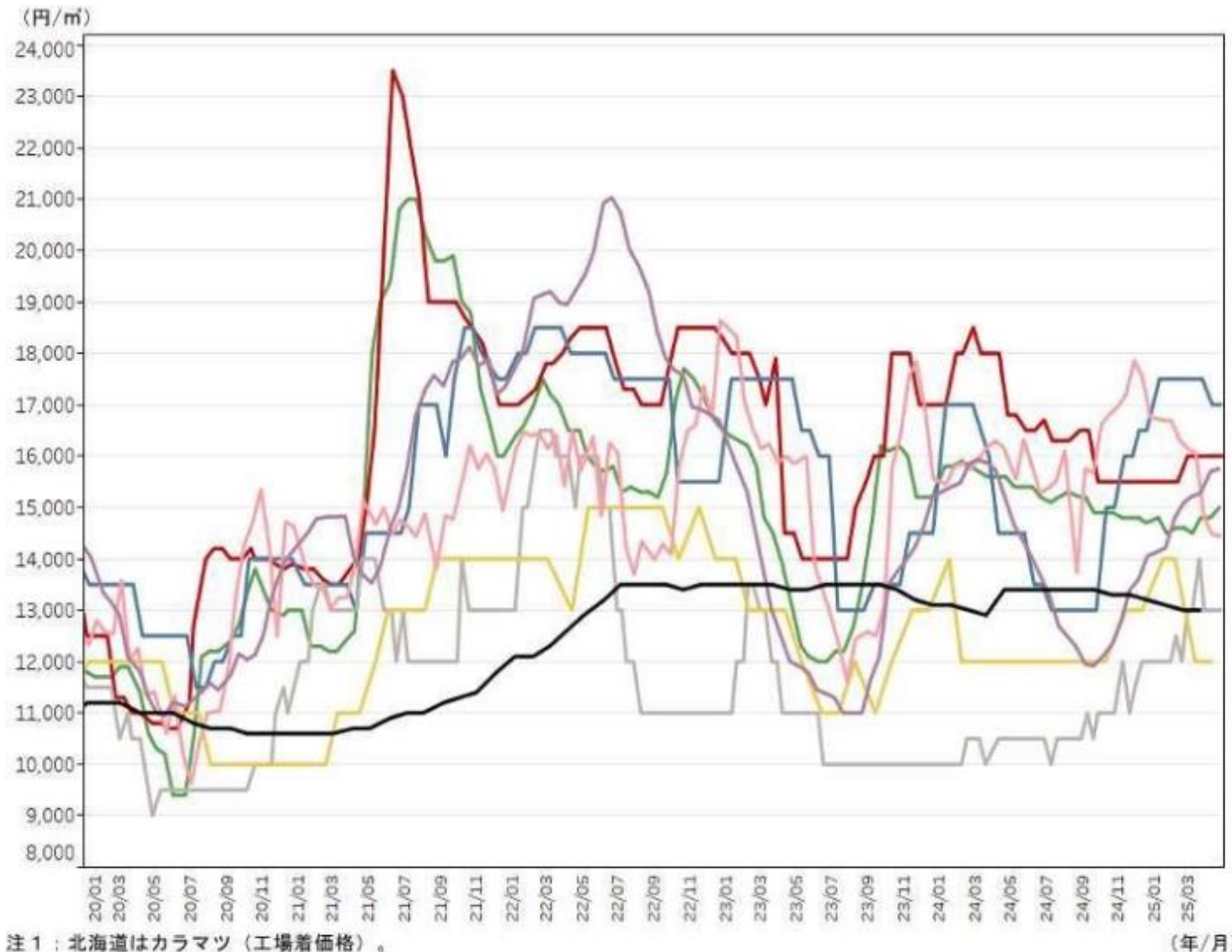
国産材製品の相場（愛媛県）令和7年5月（市売価格） (円/m³)

品目	当月	前年同月	前年同月比
スギ柱 3m×105mm角KD特等	62,000	68,000	91%
スギ間柱 3m×105×30mm角KD特等	68,000	68,000	100%
ヒノキ柱 3m×105mm角KD特等	80,000	78,000	103%
ヒノキ土台 4m×105mm角KD特等	80,000	80,000	100%

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

ア スギ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2020年1月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～17,000円/㎡となっている。



注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

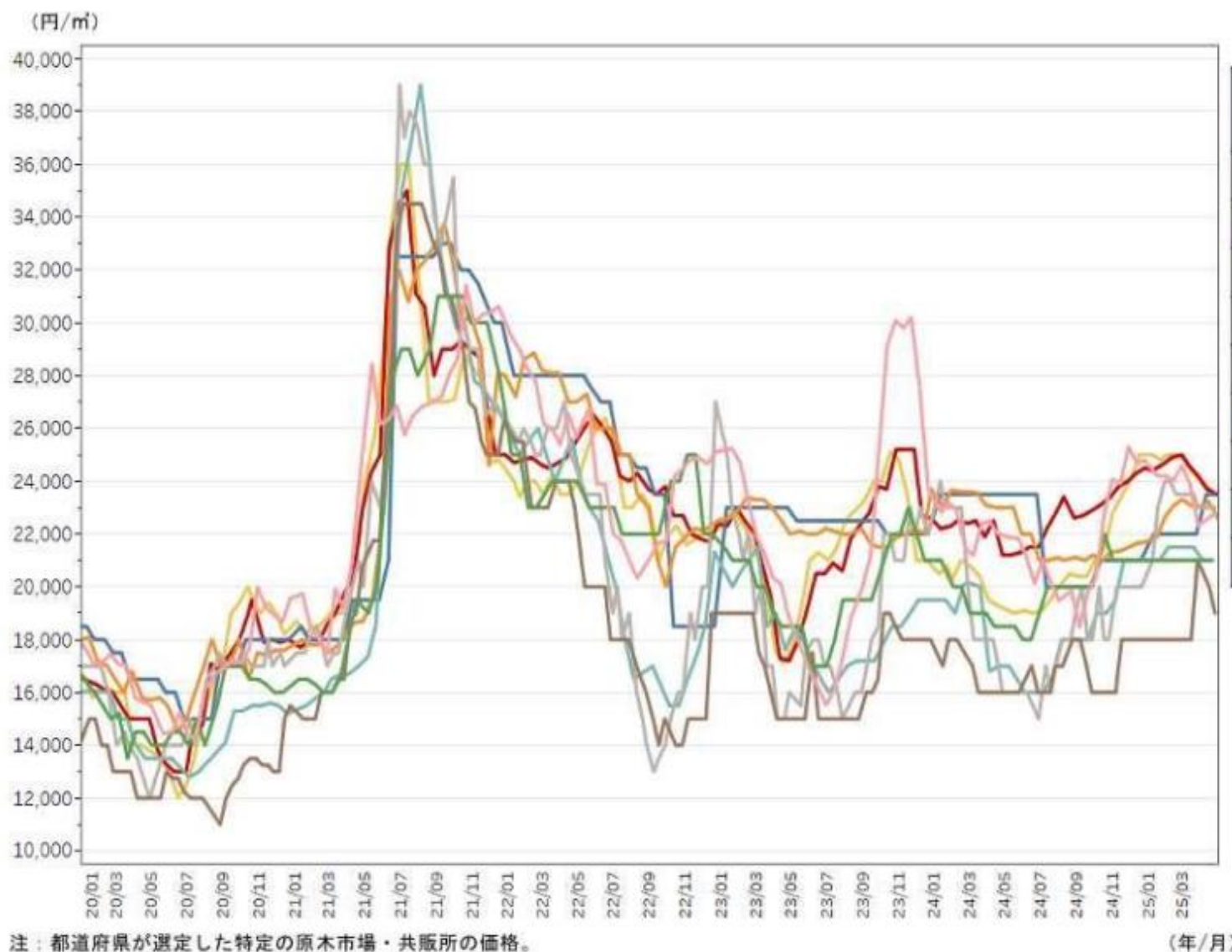
都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,000	12,900	101%
秋田県	15,750	15,160	104%
栃木県	14,440	16,180	89%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	13,000	10,500	124%
高知県	17,000	14,500	117%
熊本県	16,000	16,800	95%
宮崎県	15,000	15,600	96%

※北海道については3月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については4月の値を使用。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2020年1月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、19,000円～23,700円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

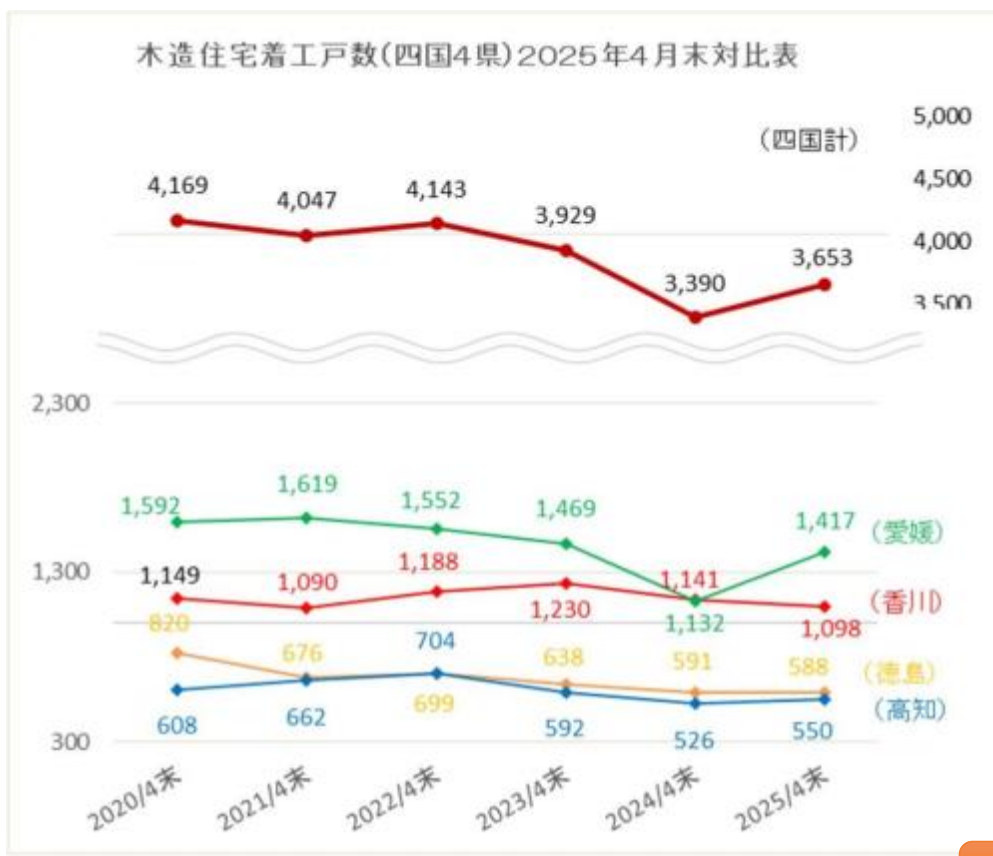
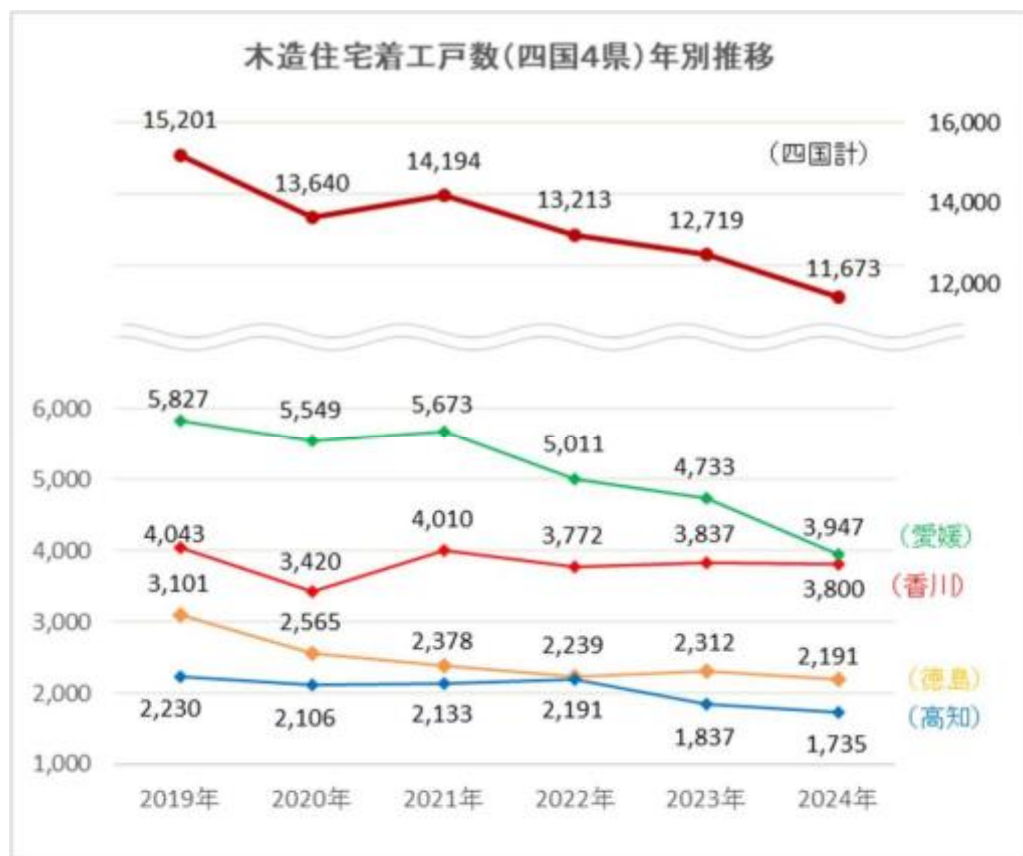
都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	22,760	22,010	103%
静岡県	21,000	18,500	114%
兵庫県	19,000	16,000	119%
岡山県	23,000	16,000	144%
広島県	21,000	17,000	124%
愛媛県	22,600	23,000	98%
高知県	23,500	23,500	100%
熊本県	23,500	21,200	111%
大分県	23,700	19,300	123%

※各県4月の値を使用。

Ⅳ 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（1）

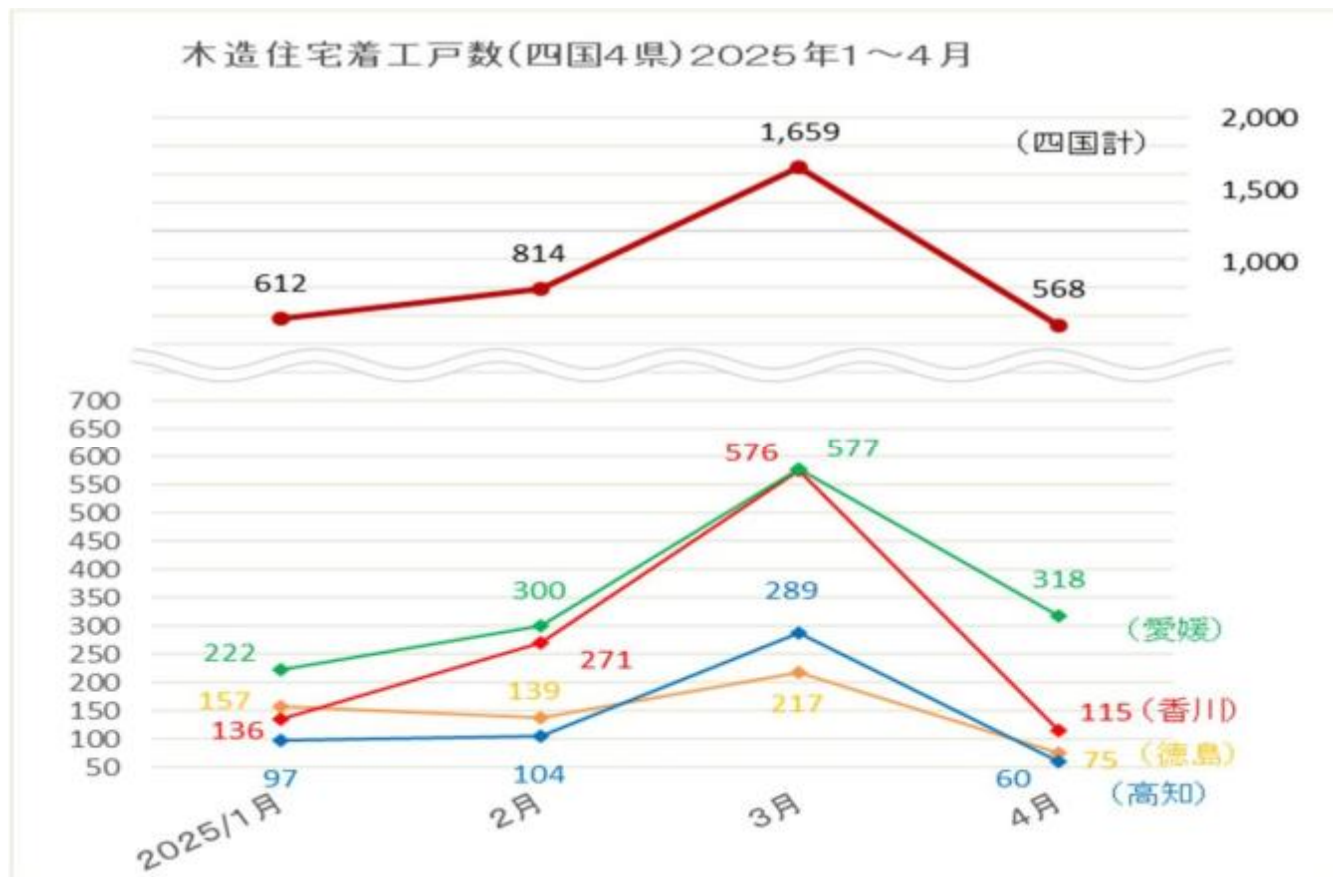
- 四国における2024年の木造住宅着工戸数は、11,673戸（前年比91.8%）となり、2023年に続き近年で最も低い水準となった。
- 2025年4月末現在四国全体では3,653戸（前年比107.8%）。県別をみると、徳島県588戸（前年比99.5%）、香川県1,098戸（前年比96.2%）、愛媛県1,417戸（前年比125.2%）、高知県550戸（前年比104.6%）



Ⅳ 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2）

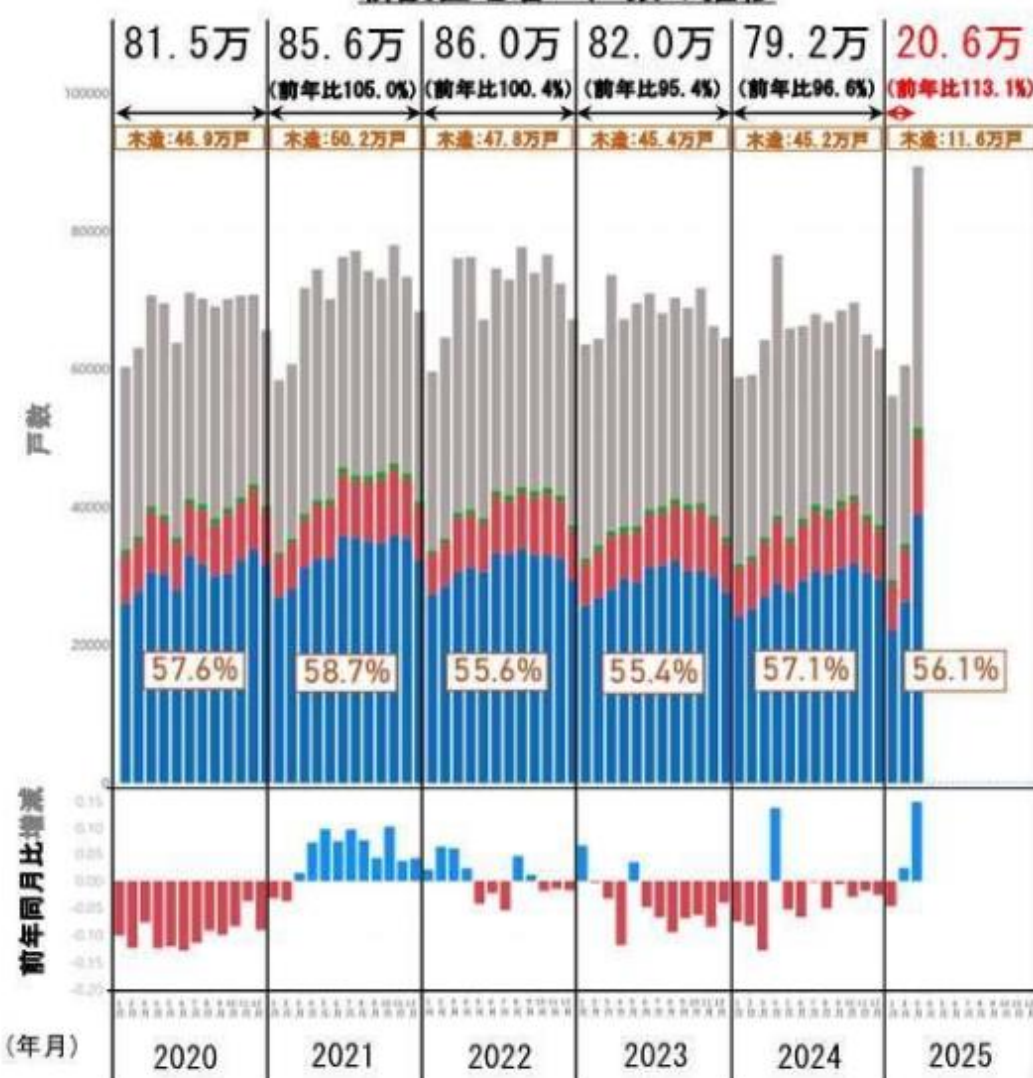
- 3月は建築基準法改正前の駆け込み需要で、四国全体では対前年度比175.7%と大きく増加したが、4月にはその反動で67.3%と大きく減少となった。



2 全国の住宅着工戸数の推移（2020年1月～2025年3月）

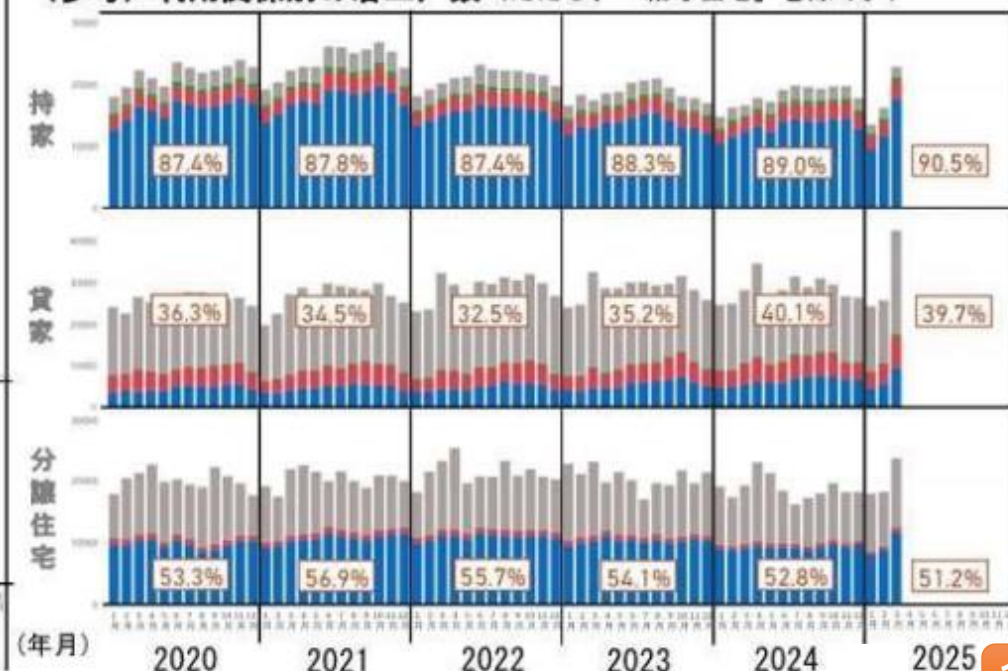
- ・ 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.3%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。
- ・ 2025年1～3月の新設住宅着工戸数は20.6万戸（前年同期比113.1%）、このうち木造住宅は11.6万戸（同115.3%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2025年 1～3月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	206,149	182,276	113.1%	201,723	102.2%
■ 非木造	90,482	81,987	110.4%	98,193	92.1%
■ 木造	115,667	100,289	115.3%	103,530	111.7%
■ 木造プレハブ	2,979	2,341	127.3%	2,344	127.1%
■ 2×4	25,270	21,447	117.8%	20,592	122.7%
■ 在来軸組	87,418	76,501	114.3%	80,594	108.5%
□ 木造率	56.1%	55.0%		51.3%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和7年1月～令和7年4月)

【スギ中丸太】 ・1月に 定常範囲(上限値)を逸脱した動きがあったが、以降は定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和7年1月～令和7年4月)

【スギ中丸太】 ・ 5ヶ月以上連続した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 4月に5ヶ月連続上昇した動きがあった。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和7年1月～令和7年4月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和7年1月～令和7年4月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和7年1月～令和7年4月)

【徳島県・愛媛県スギ】 ・2月、3月に定常範囲(下限値)を逸脱した動きがあったが、以降は定常範囲を逸脱した動きはなし。

【愛媛県・高知県ヒノキ】 ・2月、3月に定常範囲(下限値)を逸脱した動きがあったが、以降は定常範囲を逸脱した動きはなし。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領(平成25年7月30日付け25四資第19号)の2の(ア)から(オ)に係る確認

〔判断基準・指標〕

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書(平成24年9月28日(財)日本木材総合情報センター)に示された統計的な判断基準、指標を参考とした
- 使用データ: 「国内企業物価指数」(日本銀行統計)
「木材価格」「製材統計」(農林水産省統計)

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

		逸脱上限値 5.83%		逸脱下限値 -5.87%						逸脱上限値 21.54%		逸脱下限値 -22.35%		逸脱上限値 17.51%		逸脱下限値 -19.16%	
		前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）			
		1 月	2 月	3 月	4 月	1 月	2 月	3 月	4 月	1 月	2 月	3 月	4 月	1 月	2 月	3 月	4 月
スギ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）		8.55%	1.12%	3.78%	1.32%	1	2	3	4	6.22%	7.73%	10.85%	11.54%	2.50%	4.28%	7.40%	7.88%

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

		逸脱上限値 8.96%		逸脱下限値 -9.11%						逸脱上限値 39.33%		逸脱下限値 -40.51%		逸脱上限値 29.00%		逸脱下限値 -32.62%	
		前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）			
		1 月	2 月	3 月	4 月	1 月	2 月	3 月	4 月	1 月	2 月	3 月	4 月	1 月	2 月	3 月	4 月
ヒノキ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）		5.71%	3.44%	2.52%	4.20%	2	3	4	5	-6.09%	-4.25%	-3.37%	1.22%	3.88%	6.67%	6.41%	7.71%

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率					
	1 月	2 月	3 月	4 月	逸脱上限値	逸脱下限値
スギ製材用素材（徳島・愛媛）	0.67	0.75	0.94	1.02	1.86	0.79
ヒノキ製材用素材（愛媛・高知）	0.85	0.83	0.88	0.96	1.57	0.88

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。